ひとよし市議会だより

2013 第75号 平成25年１月15日　発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

http://www.city.hitoyoshi.lg.jp
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

ひまわり保育園の生活発表会

【主な内容】

Ｐ２～４ …… 各常任委員会報告
Ｐ５ …… 特別委員会報告
Ｐ６～９ …… 一般質問
Ｐ10 …… 議案等の審査結果、請願・陳情の審査結果
Ｐ11 …… 23年度歳入歳出決算を認定
Ｐ12 …… 議会報告会のお知らせ

ひとよし市議会だより

2013 第75号 平成25年1月15日 発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

http://www.city.hitoyoshi.lg.jp
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp

【主な内容】

P 2～4 ……各常任委員会報告
P 5 ……特別委員会報告
P 6～9 ……一般質問
P 10 ……議案等の審査結果、請願・陳情の審査結果
P 11 ……23 年度歳入歳出決算を認定
P 12 ……議会報告会のお知らせ

ひまわり保育園の生活発表会

補正後の歳入歳出予算の総額が151億1,613万3千円となりました。

総務文教委員会報告

●委員長　川野　精一　●副委員長　豊永　貞夫
●委　員　宮崎　保・平田　清吉・仲村　勝治・永山　芳宏

組織機構の見直し

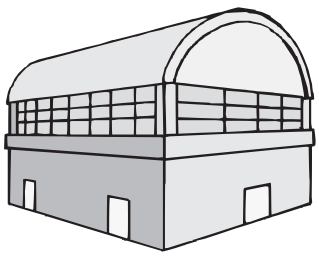
人吉市部設置条例の一部が改正され、市長公室が廃止となり、総務部に統合されることになりました。改正後の条例は25年4月1日から施行されます。

政務調査費は政務活動費へ。使途の透明性の確保が明記されました

地方自治法の一部を改正する法律が公布され、政務調査費は政務活動費と改称されました。「要請・陳情活動費」と「会議費」が対象項目に追加され、条文に「議長は提出された収支報告書について必要に応じた調査を行う等、政務活動費の適正な運用を期すとともに、使途の透明性の確保に努めるものとする」と明記されています。

体育施設の指定管理者は引き続き体育協会が行います

平成24年度末で5年の契約期間が終了する体育施設の指定管理団体、NPO法人人吉市体育協会は、行政の審査を経て、25年度からも引き続き5年間、市の体育施設の管理を行います。



アジアをめざせ！地域起点型アジア市場プロジェクト事業

内閣府の補助採択を受けて実施予定の本事業は、東南アジアにおける市場ニーズを調査し、本地域農産品の海外進出の可能性をプロジェクト研究会を立ち上げて探ります。必要経費1000万円の増額補正を承認しました。

学校施設の整備すすむ

国の経済対策事業として実施する人吉西小学校の大規模改修事業や、第三中学校特別支援学級の新設に伴う補正予算を承認しました。

学校図書館の蔵書整備・充実に関する陳情を採択

24年6月から視察等を重ね、継続して審査を行って来ました本陳情は、各方面からの現状及び意見聴取を行い、賛成多数で採択することに決まりました。

中原小図書室（一角には畳のコーナーも）

平成24年12月定例会を11月27日から12月17日までの21日間の日程で開催しました。

一般会計補正予算は
歳入歳出へ各３億9,963万２千円を追加し

厚生委員会報告

●委員長　笹山　欣悟　　●副委員長　松岡　隼人
●委　員　高瀬　堅一・村口　隆・田中　哲・三倉　美千子

《 環境対策基金条例を制定 》

市民の良好な生活環境の確保並びにごみの減量化及び資源化等の促進を図り、環境行政の発展に寄与するため、人吉市環境対策基金を設置することに伴い、人吉市環境対策基金条例を制定しました。

平成24年４月１日から、指定ごみ袋業務の見直しが行われ、ごみ処理手数料として市の歳入としていますが、平成24年度人吉市衛生員連合会総会において、連合会特別会計残金及び緊急対策積立金収入の約２千万円を市に移管することを全会一致で承認されたため、衛生員連合会からの移管金を受け入れるために、条例を制定するものです。

この基金は、第６条に規定してある費用以外に支出することはなく、環境行政にだけ限定することになります。衛生員連合会からもそのような申し出があっております。

《 国民健康保険事業特別会計 》

財政調整基金繰入金を１億３千万円減額、基金積立金に７千万円を積立

国民健康保険事業特別会計は、平成23年度において、予想以上の繰越金が発生し、また、24年度の医療費予測が予算内で対応可能なため、財政調整基金１億３千万円の取り崩しを行わず減額し、新たに繰越金の一部を基金積立金として７千万円を積み立てました。

しかし、平成25年度当初予算編成においては、厳しい状況が予測されます。

市民健診のぼり旗追加作成

市民健診啓発用のぼり旗を追加作成します。１年経過して、劣化が目立ち、交換を含めて、目立つところに使用されます。

なお、24年10月11日現在で、受診率は、34.2%という状況にあります。まだまだ、目標値には達していません。

皆さん、市民健診を受診してほしいものです。

市民健診啓発用のぼり旗
病気予防の第一歩　市民健診を受診しましょう。

経済建設委員会報告

●委員長　村上　恵一　　●副委員長　井上　光浩
●委　員　大塚　則男・犬童　利夫・西　信八郎・森口　勝之

川辺川総合土地改良事業組合が解散し協議会に移行

【対象地域に悲願の水を！】

川辺川総合土地改良事業組合は、人吉市、錦町、多良木町、相良村、山江村、あさぎり町（旧須恵村、旧深田村）を構成団体として、昭和 47 年に設立された一部事務組合です。国営土地改良事業を推進するため、多岐にわたる事務事業を行ってきましたが、利水訴訟での国の敗訴や事業休止等を受け事務量も減り、さらに平成 24 年度をもって最後の職員が定年退職となります。このため、9 月に開かれた同組合議会定例会において、同組合を 24 年度をもって解散し、協議会へ移行させる方針が決定されました。

この 12 月定例会に解散についての議案が上程され、審査の中で、今後の方針としての「個別水源」と「国営並み」の 2 点について質問が集中しました。委員会としては、今後、水を望む地域に、1 日でも早く届けることができるよう事業の行く末を見守ることを共通認識として、認めることに決しました。

【新たに 13 名の雇用を創出】

県の基金を活用し、地域雇用創出推進費に 421 万 1 千円を増額。これは墓地環境安全確認調査事業や、国産キクラゲの生産拡大を図る人吉産キノコのブランド化推進事業として、新たに 13 名の雇用を行うものです。

また、農林水産業費に、来年 2 月に九州経済産業局との共催で計画しているキーパーソン事業の経費や、農業振興課職員を九州農業成長産業化連携協議会の経営連携インターンシップ事業（異業種交換留学）を活用し、南島原市の株式会社雲仙きのこ本舗への研修に要する旅費などが計上されています。

今回、人吉きのこ生産組合関連事業に対しての質疑が集中しましたが、委員会としても事業の成功を願った上で認めることに決しました。

戸越鹿目線道路災害復旧工事
平成 24 年 6 月の梅雨時に発生した災害箇所の復旧工事が行われます。

岩本中神線改築工事
中原小学校プール前の拡幅工事が行われます。

中原跨線橋上部架替工事
光生病院桜並木前に架かる橋が平成 24 年度～ 25 年度で整備されます。

市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長　村上　恵一　●副委員長　松岡　隼人
●委　員　高瀬　堅一・井上　光浩・笹山　欣悟・西　信八郎
仲村　勝治・三倉美千子・永山　芳宏

【これまでの経緯と庁舎の現状】

昭和37年に庁舎本館が完成以来､約50年が経過。平成12年に庁舎を移転する動きがあり、執行部側で研究委員会が設置されています。その後、平成13年に耐震診断を行い､「震度５強で何らかの被害が起こることも予想される」という結果が出ています。同13年12月に市議会に市庁舎建設に関する特別委員会が設置され、市民側からは、九日町を中心とした中心市街地や、旧木材市場跡地のあった西部地区、現在の別館がある南部地区からも庁舎移転の陳情があっております。

その後、平成16年に策定された「市庁舎移転候補地比較検討内容調査業務報告書」をもとに平成19年３月までの６年間の間に、今の別館のある地区と中心市街地の２候補地に絞り込んだ状況です。

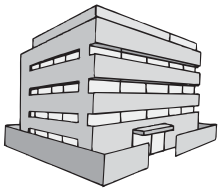
庁舎の現況ですが、執行部の考える問題点と課題は、次の６点です。

1　庁舎本館が国の史跡内にあり、文化庁から早期移転を迫られている。
2　庁舎が分散されており、市民に対して利便性が悪く、十分な市民サービスができない。
3　収納スペース、打合せスペースなど全体的にスペースが不足している。
4　庁舎本館は築50年を経過し、ユニバーサルデザインといったバリアフリーなどに対応していない。
5　調査で耐震不足が指摘、震度５強で損壊のおそれがあり、耐用年数も過ぎつつある。
6　東日本大震災のあと、市庁舎が防災・災害の復興拠点施設としての機能が重要視されている。

説明を受けたあと、委員からは、建設の財源面や他の候補地などについての質問があっております。

【今後の動き】

「知る、調べる、考える」というプロセスで進めることが肝要であり、今回は「知る」という段階、今後は「調べる」というスタンスで、建設場所の選定方法、立地のあり方などを課題に、周辺自治体の庁舎建設の動きや、全国のユニークな取り組みを調査確認し、次の課題にすることとしました。



治水･防災に関する特別委員会報告

●委員長　田中　哲　●副委員長　犬童　利夫
●委　員　宮﨑　保・村口　隆・大塚　則男・平田　清吉
豊永　貞夫・川野　精一・森口　勝之

平成24年９月25日に設置されました本特別委員会ですが、今議会における審査で２回目の開催となりました。

今回からが実質的な審査のスタートとなりますので、まずは、前期「球磨川水系の治水・防災に関する特別委員会」の経過についてと、本委員会の目的及び調査内容について並びに次回開催についての３項目について審査を行いました。

本特別委員会の前身とも言える前期特別委員会で審査されてきました内容については、まずは委員として認識しておく必要があることから、その経過及び概要について説明を受けました。

次に、本特別委員会の目的と調査内容については、今後の方向性を明確にするために議論を行い、次のように決定しました。

目的は、

球磨川水系の治水・災害対策及び広域的災害の防災対策に関する諸問題の調査を目的とする。

調査内容は、

①球磨川水系の治水対策について
②ダムによらない治水を検討する場について
③球磨川水系の防災対策について
④広域的災害の防災対策について
⑤関連機関との意見・情報交換について

次回開催については、決定した本特別委員会の目的及び調査内容を踏まえ、球磨川水系13河川の現地確認、御溝川の治水に関して県が関係町内に説明した内容及び今までの経過、関係機関との意見交換会の実施、川内原発への視察、ダムによらない治水を検討する場の現状についてといった様々な項目が上がりましたので、今後それらを調整し、次回の審査項目または今後の調査検討課題とすることとしました。

一般質問に15名登壇

消防広域化の今後・古社寺の維持と活用

田中　哲

問　城南ブロック消防広域化協議会の解散方針の決定を受けて、上球磨消防本部との合併について市民から賛成の声があるが。

答　県事務局から新たな枠組みの提案があれば検討を行っていきたいが、地域的な条件を論点とするなら、八代消防本部との合併を進めてきた私の考えと異なるので、現時点での合併は困難。

問　地域の古社寺の維持管理が難しくなってきている。助成制度または活用についての見解は。

答　文化財の指定のない古社寺は修理等の補助金制度は無いが「人吉市民まちづくり応援事業」という制度を制定して古社寺の改修、周辺整備などに助成している。活用については市民の皆さんの知恵を応援していきたい。

小学校閉校後の利活用について

大塚　則男

問　矢岳小学校、田野小学校、西瀬小学校鹿目分校は、休校なのか廃校なのか。休校なら何年間という決まりがあり廃校に至るのか。今後通学したい児童が出た場合開校になるのか。

答　3校とも休校である。廃校の決まりはなく地域と行政の話し合いで廃校とすることが望ましい。再度開校の可能性には諸問題の解決、地域からの要望など考えた場合極めて低いと考える。

問　校舎自体十分に使えると思うがどのような利活用を考えるか。

答　全国的に農林業体験型研修やスポーツ合宿などの簡易宿泊施設として利活用が図られているが、多額の設備費用など諸問題があり今後、地域の皆様と協議を重ねていきたい。

道路及び河川堤防の整備管理について

平田　清吉

問　市民が生活道路として活用している道路の整備管理については。

答　幅員4メートル未満の生活道路における拡幅改良の整備については、地元からの要望を受けて事業を実施している。事業の実施に当たっては、当該路線の必要性や緊急性等により優先順位を決定し、実現性を考慮しながら事業に着手していくことになる。

問　河川堤防の整備管理の現状と今後の竹の伐採計画については。

答　河川堤防の除草については、国交省八代河川国道事務所長から委託を受けて、年間2回実施している。一部区間に竹等の自生が見られるが、除草委託には含まれていない。竹等の伐採や除草の回数については、国交省や県へ要望をしていきたい。

第一市民運動広場の方向性について

村口　隆

問　第一市民運動広場の現状に対する市長の見解は。

答　第一市民運動広場については、昭和53年に建設されており、改善を図る部分が生じていることは認識している。また、市民の皆様がソフトボールやグラウンドゴルフ等で活発にこの施設を利用されているので、改修等により安全で快適な施設を提供したいと考えているところである。ついては、多額の事業費を要することから、財政面も十分に踏まえながら、できるだけ早期に改修できるよう検討したいと考えている。

※他に「長崎国体２０１４」における人吉市開催に向けた取り組みについてを質問しました。

畜産ヘルパーの創設について

笹山　欣悟

問　人吉市畜産会において、高齢になっても牛飼いを続けるためにはどんな支援が必要と思うかといったアンケート調査を行っている。畜産ヘルパーの創設は考えているのか。

答　人吉市畜産会の総会、役員会、その他現場で畜産農家から様々な意見や要望をいただいている。

　ヘルパー制度についても、乳用牛ヘルパー制度への一部助成や肉用牛等への一部助成を行っている自治体もあるので、参考にしながら畜産農家の支援ができるよう努力させていただきたいと考えている。

※その他、行政改革より組織機構改革について、市民の声よりカルチャーパレスの使用について質問を行いました。

きのこ生産組合のキクラゲ栽培について

松岡　隼人

問　本年のキクラゲ栽培の実績は。また、昨年と比較してどうか。

答　本年の菌床数が12万4,５００床、生産量が51トン、昨年の菌床数が５万６千床、生産量が53トンで、生産量は大幅な減となっている。

問　生産量が少なかった理由は。

答　現在、調査中。

問　生産者の現状は。

答　本市が説明してきた収益内容を大きく下回り、持ち出しが発生し、生産意欲を失っている方もおられる。

問　現状を踏まえ、本市としての具体的な取り組みは。

答　原因究明し、高品質のものを生み出す努力をし、所得向上に向けて連携強化すると共に職員を民間へ派遣し研究する。

防災行政無線工事の現況と今後の取組み

犬童　利夫

問　防災行政無線設備工事の現況と今後の取組みについて。

答　屋外スピーカーは市内64カ所に設置する。25年４月から運用を開始予定であるが、運用後に音声が届かないエリアがあれば、屋外スピーカーの設置を検討する。また、戸別受信機については、全世帯設置は財政上から難しい。町内会長宅など優先的に設置すべきところを絞り込み計画的に配備したい。

　関係町内会と日程等を調整し、取扱いや説明会を実施する。

問　防災備蓄品の配備について。

答　備蓄場所は各校区の避難所等に保存水、乾パン、ポータブル発電機を備蓄している。

※その他、災害時避難所の見直しや消防広域について質しました。

人吉城跡の樹木に説明文・名札を

仲村　勝治

問　城内の樹木には、いわれや、伝承がある樹木が多いと考えるが、人吉城跡の建造物とともに城内で暮らした人々の生活環境がわかれば観光客への案内や児童、生徒の自然科学の学習に役立つのではないか。城内の樹木に説明文・名札を設置できないか。

答　城跡を構成する要素の一つとして、歴史の生き証人のような樹木の標柱や説明板などのサインの設置は可能。暮らしと関係のある樹木は研究を進めてサインの設置を検討し、人吉城のいにしえの暮らしと環境を想像できるようにしたい。

※人吉市の古木・名木百選の調査、ふれあいの木指定木の追加、水の手門のイチイガシは樹勢がなく調査の必要性等を質問した。

人吉市クリせん定作業支援

宮﨑　保

問　クリの出荷量と単価は。また、他町村の状況はどうか。

答　平成21年度が１５０トン、今年が１０８トンで、キロ当たり平均単価が６７７円である。

他町村も21年度をピークに減少傾向にある。単価もキロ当たり６９５円となっている。

問　せん定作業員の確保は。また、不足する場合の対応は。

答　ＪＡくまのクリ部会員、シルバー人材センターにて確保している。不足する場合は、せん定講習会を受講し、作業名簿に登録し作業員として従事してもらうようにお願いしていく。

問　支援は今後も継続するのか。

答　24年度から26年度まで3年間行い、それ以降については生産農家自ら自主的にせん定作業を行ってもらいたい。

中世文化の息づく地域づくり

村上　恵一

問　県知事は、県南振興策を明言されながら、今後の戦略の中で「加藤・細川ヘリテージ（遺産）」が前面に出て、県南の歴史文化の記述がない。県内歴史の中で、相良氏の文化をどう位置づけたらいいと思うか。

答　県主導の企画の中に相良家の記述がないのは淋しいが、人吉球磨地方は国県の文化財に指定されている古社寺の約9割が集中する全国でも特異な地域であり、更に情報発信と環境整備を行う必要があると考える。

問　今後、歴史文化に絞って、何らかの県営の施設を誘致する必要があると考えるがどう思うか。

答　中世文化の宝庫であるこの地域に、県立の中世文化研究所の誘致活動を働きかけたい。

人吉市まちづくり親善大使交流について

井上　光浩

問　市まちづくり親善大使の末次利光氏の野球教室について、参加人数とその反応は。

答　ジャイアンツ・メソッド九州アカデミーの体験教室には、全体で79人が参加。大変好評だった。

問　親善大使の皆さんに協力いただき、実際に交流、体験をさせることはできないか。（例えばプロ野球観戦など）

答　良いことだと考えるが、厳しい財政状況なので検討したい。

問　石野公園の利用促進策として収蔵品と共に地元陶芸家の作品を展示していく考えは。

答　地元には秀逸な工芸家がおられ、関係者に相談しながら展示していきたい。「石野公園活性化基本計画」を策定し市民、観光客で賑わう公園を目指したい。

いじめ問題 ハラスメントについて

豊永　貞夫

問　いじめ問題は、子どもだけではなく、大人のいじめ問題も深刻である。本市の対応としてDV、パワハラ、モラハラ、セクハラなど人権相談の状況と、関係機関への連携の状況は。

答　各部署でそれぞれの相談を受けた件数は、23年度が17件、24年度が12月までに14件。連携として人権問題などは法務局と連携している。

問　消費者教育の推進法について、オレオレ詐欺や、還付金詐欺などから、消費者自ら身を守るために、消費者教育を学校、高齢者に対しておこなう法律が成立した。本市の考えは。

答　法施行後、県の推進計画が策定されたならば、本市でも計画を策定していきたい。

ポップカルチャーを活用した地域おこし

川野　精一

問　近年、漫画やアニメを中心としたポップカルチャーの分野で、地域おこしを行う自治体が出てきた。市の考えは。また、教育分野での活用は。

答　観光分野では「夏目友人帳」のアニメロケ地である当地において、夏目友人帳を活用した取組みを実施している。この取組みを研究し、地域おこしにおいて若い世代の可能性を感じている。教育分野での可能性も調査・研究していきたい。

問　映画「山頭火」の人吉ロケの予定が25年の春と聞く。今後、フィルムコミッション設立の可能性は。

答　大規模なフィルムコミッションでなく、当地の実情に則した取組みを行っていきたい。

農業振興「キクラゲ栽培について」

高瀬　堅一

問　キクラゲ栽培について、当初の計画と大きく違っているようだがその要因は。また現状の課題をどのように認識しているのか。今後どのような方策で事業の推進を図っていくのか。

答　当時は参考とする資料があまりなく、当時の国産品の単価で積算した。課題として、収穫量が減った原因の究明と、今後の品質向上と安定した生産に取組むことが課題であると認識している。キクラゲ栽培が始まって2年目。様々な課題が出てきた。こういうときにこそ生産減少の原因究明と検証が大切。市としてもきのこ生産組合と連携し、個々人の不安解消に努めていく。

※市には率先して模索し行動してほしいと強く要望した。

農業施策「人・農地プラン」について

西　信八郎

問　地域農業マスタープラン作成に伴う農家アンケートを分析してわかった人吉農業の問題点と課題は何か。

答　10年後の地域農業を見て、大半の農家の方々が農業経営者の高齢化や耕作放棄地の増加、後継者の減少などを心配され、地域の農業を維持していくためには、中心となる担い手の確保や集落営農組織の設立と農地の集積が必要という結果であった。

問　今後のスケジュールは。

答　校区ごとの説明会の後、農地の集積や青年就農意欲を喚起するために、担い手農家への支援措置等を考慮し、プラン作成を行い24年度中に人吉市人・農地プラン検討会を設置し、県の承認を取りたいと考える。

平成24年12月定例会の議案等の審査結果

番　　号	件　　名	議決結果
議第49号	平成２３年度人吉市水道事業特別会計決算の認定について	原案認定
議第60号	平成２３年度人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定
議第61号	専決処分の承認を求めることについて（平成２４年度人吉市一般会計補正予算（第４号））	原案承認
議第62号	平成２４年度人吉市一般会計補正予算（第５号）	原案可決
議第63号	平成２４年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第64号	平成２４年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第65号	平成２４年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）	原案可決
議第66号	人吉市部設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第67号	人吉市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第68号	人吉市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第69号	人吉市環境対策基金条例の制定について	原案可決
議第70号	市道占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第71号	人吉市水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第72号	人吉市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	人吉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第74号	人吉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議第75号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議第76号	川辺川総合土地改良事業組合の解散について	原案可決
議第77号	川辺川総合土地改良事業組合の解散に伴う財産処分について	原案可決
議第78号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意

請願・陳情の審査結果について

委員会	請願・陳情の内容	審査結果
総務文教委員会	学校図書館の蔵書整備・充実に関する陳情	採　　択
	第一市民運動広場の整備及び設備の改修を求める陳情	継続審査
厚生委員会	認可外保育施設に通う子ども達への助成を求める陳情	継続審査
	最低保障年金制度の創設を求める陳情	不採択
経済建設委員会	市営住宅建設に関する陳情	継続審査
	市道中神地内第８号線道路拡張についての陳情	継続審査

平成23年度歳入歳出決算を認定

平成23年度決算を審査するため、9月定例会で決算特別委員会を設置しました。審査は5回にわたって行い、各部・課ごとに決算の概要の説明を受け、質疑・応答を行い慎重に審査しました。

11月27日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果について報告を行い、歳入歳出決算については、認定されました。

平成23年度水道事業特別会計決算を認定

厚生委員会に付託された案件は、9月定例会で継続審査とし、閉会中に3回にわたって慎重に審査を行いました。

11月27日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果について報告を行い、水道事業特別会計決算は、認定されました。

市議会への陳情の取り扱いが変わりました

陳情の取り扱いについては、原則市内在住者からの陳情についてのみ、審査対象とすることとなりました。

また、市外在住者の方と市内在住者の方の連名による陳情の場合は、市内在住の方が代表であることを条件とします。

市外からの陳情や郵送によるものは、参考資料として議員に配付するのみとなります。

なお、陳情の受付は、これまでどおり持参により、締切日は一般質問1日目の午前中までとなっております。

※陳情は、市政などについて市民が直接行政、市議会に要望できる制度です。

問い合わせ先　　議会事務局議事係

電話２２－２１１１（内線３３１３）

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は市民の皆様方から、市議会に対し多数のご意見ご要望ご提案を頂戴いたしまして誠に有難うございました。市民の皆様方の声を市政に届けていくのが我々の大事な役割でもありますので、今年もまた変わらずご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、先の東日本大震災から約二年が経過しますが、改めて市民の皆様方の生命・財産を守り抜くための施策の重要性を痛感しているところであります。そのためにも築後50年を経過した市庁舎（防災拠点）の移転建設は喫緊を要する課題であると考えます。様々なご意見をお気軽にお寄せ下さいませ。

本年も皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

（文責：森口　勝之）

【議会報編集委員会】
委員長／永山芳宏
副委員長／森口勝之
委員／宮﨑保　高瀬堅一
大塚則男　犬童利夫
豊永貞夫　笹山欣悟

次の定例会は3月です。

議会報告会及び意見交換会

議会報告会の内容

①三常任委員会報告

②市議会や市政への要望などの意見交換会

皆様のご意見ご要望をお聞かせください。

２会場での同時開催となります。どなたでもお気軽にご参加ください。

平成25年1月24日（木）
時間：19時～
人吉市東間コミュニティセンター

住所：熊本県人吉市蟹作町1531-1
電話：0966-24-3381

1班

永山　芳宏
村上　恵一
三倉　美千子
西　信八郎
川野　精一
松岡　隼人
大塚　則男
宮﨑　保
村口　隆

平成25年1月24日（木）
時間：19時～
人吉市東西コミュニティセンター

住所：熊本県人吉市城本町1088
電話：0966-28-3230

2班

森口　勝之
田中　哲
仲村　勝治
笹山　欣悟
豊永　貞夫
井上　光浩
犬童　利夫
平田　清吉
高瀬　堅一

お問い合わせ：人吉市議会事務局　㈹ 電話０９６６－２２－２１１１